謹賀新年
2015年 1月
ロータリー理解推進月間
No.1181号

広島西南ロータリークラブ会報

林本会長による会長時間

ロータリーに輝きを

2014-2015 RI theme
LIGHT UP ROTARY

URL http://hiroshima.southwest.rotary2710.net

1/6 第1346回例会
12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

➢国歌斉唱　われらの生業

➢お誕生月記念記念品贈呈

久保慎太郎会員　1月３日
徳納　武使会員　1月10日
三好　清隆会員　1月12日
山本　春男会員　1月29日
吉田　栄壮会員　1月31日
濵田　公璽会員　1月31日

➢MPHF表彰

仲田　淳嗣会員－サファイヤ入りバッチ贈呈

➢会長時間

皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご来訪のお客様にようこそお越しくださいました。ごゆっくりとお過ごしくださいませ。

今年は、元旦の朝が、久々に雪となりましたが、それぞれに、清々しい新年をお迎えになられたことと思います。昨年は皆様のお蔭をもちまして、今年度前半を無事締めくくらせていただくことができました。クリスマス家族会では、親睦家族活動委員会の皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

本日より、いよいよ、今年度の後半が始まります。６月の最終例会まで、気を引き締め頑張ってまいりたいと思います。引き続きご尽力とご協力の程を、宜しくお願い申し上げます。本日のプログラムは、恒例の年男新春放談となっております。年男の皆様には宜しくお願い致します。

さて、今年、平成2015年の干支は乙未（きのとひつじ）となります。

乙という文字は、草木の芽が曲がりくねっている象形であるため、新しい改革創造に向かうけれど、まだまだ外の抵抗力が強いという意味があるそうです。それがゆえに、いかなる抵抗や紆余曲折を経ても、それを進めていく気概を持っていかねばならないということだそうです。株や相場の世界では、羊年は辛抱や耐える年と言われるそうです。何事にも、堅実かつ慎重な判断が必要となる年なのではないかと思います。とはいえ、元旦に初詣した神社の宮司さんのお話では、今年の吉方は、西南とのことでした。我が西南ロータリークラブにとって縁起が良い年となるのではと思います。私達会員の一人一人が、そして、クラブが繁栄に向かう年となることを願い、会長時間とさせていただきます。

➢幹事報告

ロータリーレート変更（１ドル112円→118円、１月１日から）。／ロータリーの友誌・ガバナー月信（通常号・地区大会特集号）配布の案内。／２月10日（火）開催　ロータリー情報委員会ＧＭ案内を回覧。／会員企業一覧表の提出期限は１月末につき、ファイル未提出者は提出を。／例会変更。／２月会費で同好会半期会費を請求。同好会幹事は１月20日（火）迄に必ず事務局にメンバーを報告のこと。／会員手帳に変更等のある方は１月中に事務局迄。

➢出席報告

会員数 62名　出　席 54名　欠　席　8名
来　客　2名

➢プログラム

会員卓話

「年男新春放談」

荒木　　攻会員

未年生まれの私は、干支が今年で６巡することになります。

思い起こせばこれまで様々な人との出会いがあり、色々な体験がありました。

そんな中で本日は自分の大学時代の最も強く印象に残ったことをお話させてもらいます。私の大学時代は、60年安保改正と70年安保改正の10年間の中にすっぽりとはまっていました。私が広島大学医学部に入学したのが1962年（昭和37年）で、60年安保闘争の余韻が強く残っていました。全学連の学内の活動は活発で、学外でも多数の学生がデモに参加しました。活動に興味を示さない人はノンポリとあたかも愚か者呼ばわりをされた時代です。まだ見ぬ理想社会やベクトルの違う正義感でもって本気で革命を考える一部の人達によって、大多数の人達は扇動、感化されたと理解しています。しかし、この時代は何と言っても戦後70年の歴史の中で政党、学生、市民、大衆を巻き込んだ左翼国民運動がこれほどまでに盛り上がった時期はありませんでした。それが70年安保闘争の時期になると全学連から全共闘の時代に移り、余りにも過激な活動故に国民の支持を失い、組織は自壊してしまいました。この時期の闘争と言われるものには複雑な要素がからんでいたことは事実ですが、その背景にアメリカとソ連という二大国の対立があってのことと理解しています。

「七十にして心の欲する所に従うも矩を踰えず」です。

岡本　俊雄会員

明けまして、おめでとうございます。

西南ロータリークラブの会員の皆様に置かれましては、清々しい新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

私の、年男としての抱負を述べるために、貴重なお時間を頂き有難うございます。1943年、昭和18年９月26日に私は大阪の地で生を受けました、これが未年との縁の始まりです。第1回目の年男は1955年（昭和30年）でしたが、年齢が12歳の子供だった為に、何も記憶がございません。1967年(昭和42年）の第２回目年男の時には長女が誕生していました。結婚が大学を卒業した年だったので、仕事を覚える間もなく結婚をして、子供が授かり親となりました。社会人としての経験も未熟で、しかも仕事も半人前、見合結婚でしたので、夫婦関係もぎこちなく、緊張と不安で一杯な気持ちで年男を迎えた記憶があります。当時の写真を見ても、ゆとりのない顔の表情で写っています。1979年（昭和54年）36歳の福山勤務時代に第３回目の年男を迎えました。まさに男の修業を味わっていた時代でした。やっと仕事を覚えたばっかりの生意気な時代で、多くの失敗を重ねて、一歩一歩人生の階段を上り、将来の夢を描いた時代でもありました。1991年（平成３年）。48歳第４回目の年男は人生最高の時代でした、バブルが弾けて間もない時期でしたが、仕事も生活も日々充実していた時代でした。営業所の新築や、新たな営業所の開設を進めたのはこの時代でした。第５回目の年男は、2003年（平成15年）で60歳還暦を迎えた年でした、人生の記念事業として、長年続けていた喫煙（１日80本吸っていた）ときっぱり縁を切り、現在に至っております、お蔭様ですこぶる健康です。今年、2015年第７回目72歳の年男を迎えます、７人の孫に囲まれ、恵まれた幸せな人生を迎えております。今年の正月も、家族15人で、岡山の湯郷温泉に行ってきました。正月は家族で温泉に、5月の連休には、東京で家族全員が集まっての食事会をするのが恒例です。これからも、今までも、今まで以上に健康に留意し、仕事で社会に貢献できるよう、生涯現役を目標にして、頑張っていく所存です。時間が充分に取れず、ロータリー活動もままなりませんが、メーキャップを通じてとりあえず、100％出席を続けますので、今しばらくご容赦のほどよろしくお願い申し上げまして、私の抱負と致します。

1/13 第1347回例会

12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

▶奉仕の理想

▶四つのテスト唱和

▶物故会員黙祷

広島安芸ロータリークラブ　今西　富生会員
（㈱今西製作所　取締役会長）
１月６日ご逝去（86歳）

▶ご結婚記念月記念品贈呈

小川　光博会員　１月22日
根石　英行会員　１月23日

▶会長時間

皆様こんにちは。ご来訪のお客様にはようこそお越しくださいました。ごゆっくり、お過ごしくださいませ。本日のプログラムは、先週に引き続き年男新春放談となっております。宜しくお願いいたします。さて本日は、先週開催されました第７回の理事役員会より、二点程ご報告させていただきます。まず一つは、ロータリー特別月間の変更についてです。国際ロータリー理事会の決定事項として、特別月間が変更されました。2015年７月から次のように変わります。９月の新世代の為の月間が、「基本的教育と識字率向上月間」になります。10月の職業奉仕月間が「経済と地域社会の発展月間」となります。「米山月間」は日本独自のもので従来どおり変更はありません。12月の家族月間は「疾病予防と治療月間」に、１月のロータリー理解推進月間は「職業奉仕月間」に、２月の世界理解月間は「平和と紛争予防／紛争解決月間」に、３月の識字率向上月間は「水と衛生月間」に、４月の雑誌月間が「母子の健康月間」に、それぞれ変わります。そして、５月は青少年奉仕月間となります。６月のロータリー親睦活動月間と８月の会員増強・拡大月間そして11月のロータリー財団月間はこれまでどおりで変更はありません。

二つ目は、国際ロータリー2710地区の広島豪雨災害支援が具体化しました。2710地区広島豪雨災害支援委員会が、ひろしまNPOセンターを通じ、被災地復興や地域再生の活動をするボランティアグループに対し助成金プロジェクトを募集しました。応募の中から審査の結果、15グループの災害支援プロジェクトに、第一次の助成金の支給が決定されました。明日14日に、助成金の授与式が行われます。当クラブからは、室埼幹事に出席していただくようになっております。尚、すでに2710地区広島豪雨災害支援委員会から、各ロー

タリークラブに災害支援プロジェクトの助成グループの振り分けが決められており、各ロータリークラブは、担当となったプロジェクトの進捗確認やサポートをおこなうこととなります。今回、広島西南ロータリークラブに振り分けられた助成グループは、「青年海外協力隊ＯＢ」のグループで、阿武の里団地を花でいっぱいにするプロジェクトとなっております。今後のクラブの対応をどのようにしていくか、より詳細なことが分りしだい、理事会で諮りクラブ内の調整を行って参りたいと思います。以上本日の会長時間とさせていただきます。

➢幹事報告

広島14ＲＣ合同懇親ゴルフ大会案内・７月以降の特別月間変更のお知らせ配布の案内。／２月10日（火）開催　ロータリー情報委員会ＧＭの案内を回覧。未回答者は回答を。／例会変更。／例会終了後、クラブ協議会開催。

➢委員会報告

広報雑誌委員会

「ロータリーの友１月号」を読んで

白築　忠治会員

ロータリーでも移り変わりが早いスピードで進んでいるなと痛感したことです。「不易流行」という言葉がある。ロータリーの原点に関することは「不易」と思われるが、情報伝達や活動は「流行」が進んでいる。１月号でもホームページによる情報発信が数例紹介されている。ロータリーの友誌も印刷物だけでなく電子版が選択できるようになると聞いている。これから話す「ロータリーデー」も最近良く耳にする一つとなっている。

１月号で、ロータリーデーの紹介例として名古屋市で実施されたワールドフードを主体とした11月１日～３日の３日間のイベントの来場者６万人超、収益金283万円（収益金はカンボジアの教育事業と水事業支援、ポリオプラス寄付に使用）の実例をはじめ数例が掲載されている。陰徳が美徳と思っていた古い世代には隔世の感はあるけれども、これからのロータリー活動は地域社会に溶け込んで地域社会に知ってもらうためＰＲをかねて大々的に活動する必要があるようだ。浦島太郎にならないように頑張らねばと思いつつ ……。

➢出席報告

会員数 62名　出　席 54名　欠　席　8名
来　客　1名

➢プログラム

会員卓話

「年男新春放談」

徳納　武使会員

先週１月10日に、60歳の誕生日。還暦。老人の始まりと思っていたが、いざ自分がその年になり、まだまだ元気で若いと実感している。

昭和30年、福岡県田川市で生を受けます。筑豊炭田。全盛期の終焉頃。青春の門そのままの映像がありました。

昭和39年、東京オリンピックの次の年、広島に引っ越し。

幟町小学校、幟町中学校、崇徳高校と広島で過ごし、昭和48年、札幌オリンピックの次の年、東海大学海洋学部に入学し、教養課程の一年目を札幌で過ごし、二年目は、青函連絡船に乗って北の大地に別れを告げて、静岡県清水に移り、三年間過ごしました。

大学生活は、父と意見が合わずに、生活費稼ぎにバイトに明け暮れ、楽しい思い出がなく過ごした。

就職が迫り、父がどうするのかと。「お父さん、僕は米国に行くんです」。困り果てた父は、私が人生の師と仰ぐ方に相談。

「先生、僕は米国に行くんです」

その先生「行きなさい」

腹巻にドル札を入れて上陸。行き先、Kansas。ロスからグレイハウンドにのって３日がかりで到着。アメリカは広い。

英語が出来ない。

TOEFL　450点

必死で勉強。人生こんなに勉強したことはない。

10か月後、530点

これ以上伸びない。

愛車ワーゲンに乗って、ボストンへ。

ボストンＵで取りあえずサマースクールを受けながら、SCHOOL of PublicCommunication にアプライ。

「TOEFL　では　私の力は判断できない」と力説して入学を許可される。

当時のボストン
・小澤征爾
・アーサーフィドラー
・ライシャワー
ご飯は美味しい

文化がいっぱい
学生生活を堪能

休みの時は
愛車流星号に乗って、メキシコ、フロリダ、キーウエスト、スキー

私が生きる上で信じること
神は
・乗り越えられない試練を与えない。
・良いことと悪いことは同じ量。
　いま、私が何があってもへこたれないのは、人生先に楽しいことを経験しているので、今何があって仕方がない。楽しいアメリカ時代があったから頑張れる。

　３年半の留学を終えて、帰国。父の会社に入ることを念頭に東京本社の塗装屋に入社。仙台支店。
　女川原子力発電所、一号機の新築、秋田火力発電所で鉄塔を塗っていたころ、今の妻と知り合う。

　２年の修行の後、広島に帰る。

　32歳で広島青年会議所に入会。９年間
　小さい会社だが、バブルな時代でもあり、かなり無理をして活動をした。
　私の社会奉仕メソッドはこの時代に習得。
　多くの友人を得た。いま、楽しい人生を過ごせるのはこの時代の友人が多くいるから。

ＪＣ卒業後、家業に専念。
■コンクリート構造物の補修に取り組む。
塩害、中性化、アルカリシリカ反応。
50年経過した鉄筋コンクリート構造物をもう50年使いたい。を手助け。
薬剤をコンクリートに圧入。
最初誰も相手にしなかった。最近注目される。全国20か所で講習会。
■お客様のための塗り替え。

53歳で広島西南ロータリークラブに、男気だけで入会。
還暦を前に逝った山内晶彼の年を追い越した。

還暦を迎え、まだまだ体が元気、頭脳が進化している。
新しいことに挑戦する。
仕事：コンクリート補修は建築分野に進出。塗替えは展示スペースを開設。
趣味：ゴルフレッスン。魚釣り。お習字。
ロータリー：ファンド for ココンキッズ
　　そして　会員増強。
自分が納得がいくまで、やってみようと思います。

佐古　雄司会員

広島西南ロータリークラブ

年男卓話　佐古　雄司

1967年（S42年）3月18日生まれ

48歳

●乙未（きのとひつじ）　昭和30年　平成27年

●丁未（ひのとひつじ）　明治40年　昭和42年

●己未（つちのとひつじ）　大正8年　昭和54年

●辛未（かのとひつじ）　昭和6年　平成3年

●癸未（みずのとひつじ）　昭和18年　平成15年

特徴

●丁未（ひのとひつじ）　明治40年　昭和42年

この生れの人は、病羊といいます。身体が弱く病気がちで遊ぶことが多い。精神的に安定しにくいタイプです。短気で自分の思うようにならないと、すぐ八つ当たりをします。正直者で人の心を見抜く観察力があります。反逆的精神があるので、普通の人と異なった行動が多い。蓄財性が少ないので物質的な成功はしにくい。金銭的なことに欲がある割には金銭上の事にとやかく言うことを好みません。自由な生活にあこがれ家族と離れたり住居をよく変えます。悪気はないが言葉にトゲが多い。

1967年に起こったトピック

- 1967年（昭和42年） 出来事
- 1967年（昭和42年） 流行ファッション・髪型
- 1967年（昭和42年） 新商品・ヒット商品
- 1967年（昭和42年） 新食品・ヒット食品
- 1967年（昭和42年） 流行語
- 1967年（昭和42年） ヒット曲

1967年（昭和42年）出来事

■青春ドラマ・ブーム
■初の「建国記念日」
■ツイッギー来日。日本にミニスカートブーム到来
■吉田茂元首相死去
■東急百貨店本店が開店
■小田急百貨店が開店
■日本初の国際クレジットカード発行
■大阪・阪急千里駅に自動改札機の第1号が設置
■東京キー局，カラーテレビ本放送開始
■グループサウンズブーム
■日本航空、世界一周線の運航開始
■ラジオ番組「オールナイトニッポン」が放送開始

イエイエ族

60年代初期～中期にかけて、パリのサンジェルマン広場を中心に広がった「イエイエ族」と呼ばれる、当時のお洒落だったティーンエイジャーたちのファッション風俗。

身体にぴったりとしたセーターや短いスカート、ハイ・ウェストのベルト付きコートなどが代表的。

「イエイエ」はロックンロールの影響を受けたシャンソンに由来する言葉といわれ、当時のアイドル歌手シルビー・バルタンは、若者のファッション的流行のリーダーといわれた。日本で「イエイエ」といえば、レナウンが67年に発売したニット・コーディネートのコマーシャルとして知られている。このときのキャンペーン・ガールにシルビー・バルタンが起用され、小林亜星の作曲によるコマーシャルソングを彼女が歌っている。

1967年（昭和42年）流行ファッション・髪型

■モッズルック流行
■イエイエ族
■光沢素材流行
■メキシカン・ルック
■ミニスカート全盛の大流行
■プレタポルテ全盛時代へ
■男性にピーコック革命（孔雀の雄）

モッズ

モッズ60年代半ば、ビートルズから派生したイギリスでのグループサウンズのファッション。音楽面での衝撃とともに、彼らが着ていたモッズファッションは、日本のメンズファッションにも大きな影響を与えました。
モッズと呼ばれたこのファッションの特徴は、長髪に船員帽、水玉や花柄など派手な柄でウエストを細くしたシャツ、股上の浅いスリムパンツ、幅広ネクタイ、そしてブーツなど。こうしたスタイルは、日本ではグループサウンズファッションとして開花します。モッズファッションをアレンジしたミリタリー調のザ・スパイダーズ、フェミニン調なタイガースなどが代表的なバンドです。

プレタポルテ

オートクチュール（高級注文服、高級オーダーメイド服）は、限られた個人客からの注文を受け、一点一点手作業で制作した服を顧客に渡すという流れ
↓
プレタポルテ（高級既製服）は、基本的には卸売から大量受注して小売する流れとなる。
「プレタポルテ」以前の既製服は、既製品という意味を持つコンフェクションやレディ・メイドと呼ばれていたが、これらの言葉が大量生産された粗悪な安物、というニュアンスを持っていたため、それらと区別するために「プレタポルテ」という言葉が生まれた。そのため、日本語では「プレタポルテ」をそのまま「既製服」と訳さず、高級既製服と訳されることが多い。

1967年（昭和42年）新商品・ヒット商品

■リカちゃん（タカラ）
■IC電卓（早川電機）
■男性用化粧品　MG5（資生堂）

1967年（昭和42年）新食品・ヒット食品

■チョコフレーク（森永製菓）
■エールチョコレート（森永製菓）
■サラダうす焼き（亀田製菓）
■ビール　純生（サントリー）

1967年（昭和42年）ヒット曲

1位　ブルー・シャトー　ジャッキー吉川とブルー・コメッツ
2位　夜霧よ今夜もありがとう　石原裕次郎
3位　この広い野原いっぱい　森山良子
4位　真赤な太陽　美空ひばり・ブルー・コメッツ
5位　銀色の道　ザ・ピーナッツ
6位　恋のハレルヤ　黛ジュン
7位　君だけに愛を　ザ・タイガース
8位　帰ってきたヨッパライ　ザ・フォーク・クルセーダーズ
9位　雨の銀座　黒沢明とロス・プリモス
10位　小樽のひとよ　鶴岡雅義と東京ロマンチカ

■日本レコード大賞：ブルー・シャトウ（ジャッキー吉川とブルーコメッツ）

ご清聴ありがとうございました

1967年（昭和42年）流行語

■アングラ（地下活動をする反体制的な集団のこと）
■核家族　（夫婦だけ、または夫婦と子どもだけの小家族のこと）
■ハイミス（20代の後半から30代の独身女性）
■ハプニング　（偶然の出来事）
■フーテン族　（東京・新宿にたむろする若者たち）
■ボイン　（大きなバストのこと）

1/20 第1348回例会

12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

ROTARY

連続出席100%

12年……宮本　昇会員
９年……小川　光博会員
７年……徳納　武使会員
１年……田中　朋博会員

会長時間

皆様こんにちは。お客様にはようこそお越し下さいました。

ごゆっくりお過ごし下さいませ。

本日のプログラムも、年男新春放談となっており、楽しみにしております。宜しくお願い致します。

さて、先週の１月17日は阪神淡路大震災発生から20年ということで、一日中追悼式の模様等が報道されていました。

この震災の被災者でありながら、その体験を機縁に、人生を、そして運命を大きく変えた方がいます。59歳と11ケ月ほぼ還暦で、ゴルフのプロテストに合格した古市忠夫さんです。三度の飯よりゴルフが好きなただの写真屋さんが、その年齢で

何故プロゴルファーになれたのか、古市さんの講演の文章を抜粋して読んでみます。震災では私たちの地域でも、97名の方が火に呑まれ、建物の下敷きとなって亡くなりました。地震が怖いのは勿論ですが、地震から出てくる火災の恐怖はまさに想像を絶します。そして、更に、震災後の地域復興へ歩み出すまでの住民の凄い闘い、罵声・怒号・中傷・誹謗・脅迫…復興街づくり協議会の副会長として命からがらの体験をしながら、大震災から６年で神戸市内初の区画整理事業を完成することができました。震災後５年経ったころ、親友が会う度にプロゴルファーに挑戦しろと言うんです。その気になった一つの要因は、僕自身かねがね「ゴルフは心の格闘技だ。心の戦いがゴルフだ」と言い続けてきたからです。プロテストに挑むということは、自分自身の言葉を証明する一番の機会じゃないかと決断をしました。私自身、震災を契機に、そして街の復興を通じ自分の心が変わってきました。普段の３倍、４倍の力を出す方法は何か?　それが“心”だというのをつかめたから、プロテストに合格できました。頑張ると同時に、頑張れることへの感謝の心。家族や親友が支えてくれたから頑張れた。感謝の気持ちは、人の心を大きく、美しく、そして強く、柔軟にします。みなさん､よく才能×努力×運と言われます。でも、その前に感謝の心が必要です。この４つを掛け合わせたとき、信じられないパワーが発揮できます。祖父母や父母が積んでくれた徳、私も震災のとき２日間で11人を救助することができました。悔いのないように、町の復興に頑張りました。プロゴルファーを目指してからも、これまでどおり町内や消防団の仕事を続け、両方を一生懸命にやり徳積をさせていただきました。３倍、４倍の力を出せたのは、それしかないと思います。と話しておられます、ロータリーの心、本質も同じ徳積みといえるのではないでしょうか。

➢幹事報告

同好会半期会費請求用のメンバー表提出は本日迄。未提出同好会連絡を。／会員企業一覧表原稿提出・会員名簿変更事項の連絡は１月27日（火）期限。／例会変更。

➢出席報告

会員数 62名　出　席 54名　欠　席　8名
来　客　3名

➢プログラム

会員卓話

「年男新春放談」

木村　恭之会員

2015年ひつじ年の年男を迎えるにあたり、年男放談の時間をいただきました。

しばらくおつきあいくださいませ。

2015年という年は、東北大震災から４年、アメリカ同時多発テロから14年､阪神大震災から20年、広島西南RCが生まれてから29年、日中共同声明がだされて43年、日韓基本条約が結ばれて50年、私が生まれてから60年、第２次世界大戦終結から70年､当然広島への原爆投下から70年､日本のロータリークラブ誕生から95年、アメリカ、シカゴの最初のロータリークラブ誕生から110年、明治維新から147年、こういった2015年であります。

さて、木村が広島西南ＲＣに入会させてもらって18年になります。

この間、２回の副幹事、１度の幹事、等を勤めさせていただきました。

15年前の１度目の副幹事の時は、左足首を骨折してしまいました。松葉づえで、地区大会に参加したのをはっきりと覚えています。佐古さんのお父さんが会長、平原さんが幹事の時です。皆様には当時大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

６年前の幹事の時は、脳梗塞を発症してしまい、１週間、荒木先生の病院に入院いたしました。梶本さんが会長､室崎さんが副幹事の時です。この時も、皆様には大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。

本年７月より会長職を拝命しておりますが、果たしていかなる事態が発生してまいりますでしょうか？

林本さん、杉川さん、そして末廣さん、万が一の時にはどうかよろしくお願い申し上げます。

私事を振り返ってみます。

木村が二十歳頃のとき、1976年４月から1977年３月にかけて、日本脱出、なんでもみてやろう！

青年は荒野を駆ける　サブタイトル：ピラミッドの頂上からスフィンクスに向け打て　などと思いながら、シベリア鉄道の旅に出ました。

横浜から船に乗ってナホトカへ、ハバロフスクからシベリア鉄道１週間でモスクワへ、レニングラード（サンクトペテルベルグ)、フィンランド、スウェーデン、デンマーク、オランダ、ドイツ、

イングランド、スコットランド、ウエールズ、フランス、スペイン、その間、できるだけヒッチハイク、サイクリング、を多用して、北アフリカ、モロッコ、アルジェリア、チュニジア、エジプト、再びヨーロッパにもどりギリシャ､そしてトルコ、シリア、ヨルダン、イラン、アフガニスタン、パキスタン、インド、ネパール、タイ、香港を巡り、帰国しました。

現在、イスラム教過激派がたいそう騒ぎを起こし、イスラム教自体が物議され、イスラム教徒が迫害を受けかねない事態になっています。

私のこの旅の中で、多くの人から助けをいただきました。

その中でも、イスラム教圏の方々からは“超我の奉仕”を多く感じました。

チュニスのある午後、宿を探して彷徨していると、同世代の住民から呼びかけられ“俺ん家に泊まれば”の誘いを受けました。２ＤＫのアパートに６人家族、皆やさしく接してくれます。

狭い部屋を整理して、ベランダに僕のため寝床を作ってくれました。

長い旅で疲れ果てた私の衣服を、お母さんは丁寧に手洗いしてくれました。

温かな夕食と優しい家族との触れ合いに涙があふれました。

旅人を温かくもてなすのは、我々イスラムの伝統と言ってくれました。

イスラエルとヨルダンの境にアカバ湾があります。

イスラエル軍の最新鋭ジェット機の飛行とヨルダン軍のか細いプロペラ飛行の対比をアカバ湾で眺める機会がありました。この時に感じた国力の格差は今ではもっと差がついているのだと思います。

この１年間の旅では、どの国、どの場所でも、私はさほど危険を感じることはありませんでした。

1976年の時代と2015年の時代。40年の時の経過の間、世界はなんと恐ろしい時代に変化しているのでしょう。

広島に育った私たちとして、ロータリークラブ活動の中で､あるいは外でも､何か自分自身､もっと平和に貢献することはできないか？

そんなことを思い、来年度の会長スローガンを“世界平和”に向け、できることを探していこうこのようにさせていただければと現時点では考えております。

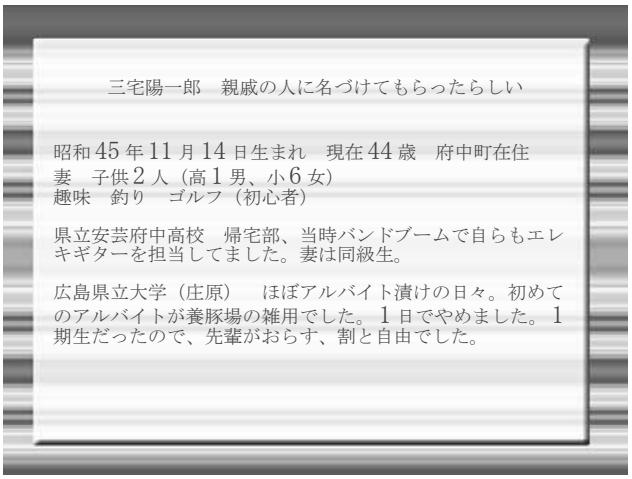
先週、東京三田の国際ＲＣ事務局を訪れ、ロータリー平和フェローシップのお話しを聞いてまいりました。機会を設けて、同プラグラムで来日いらっしゃる留学生のスピーチを広島西南RCで頂戴できればありがたいと思っています、

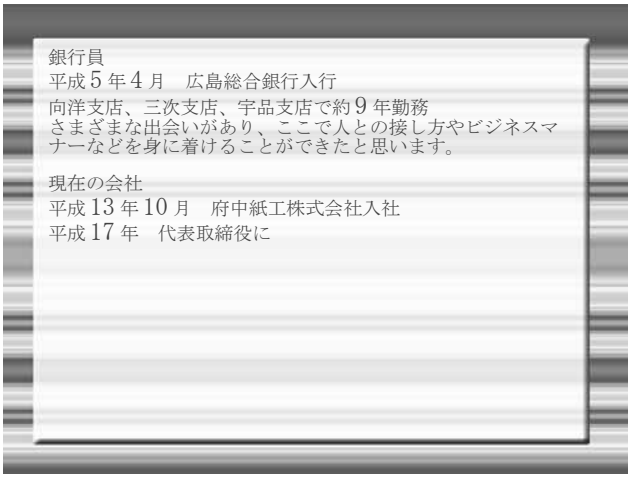
今年度同様､来年度も皆様のご協力をお願いし､またご活躍を祈念いたします。

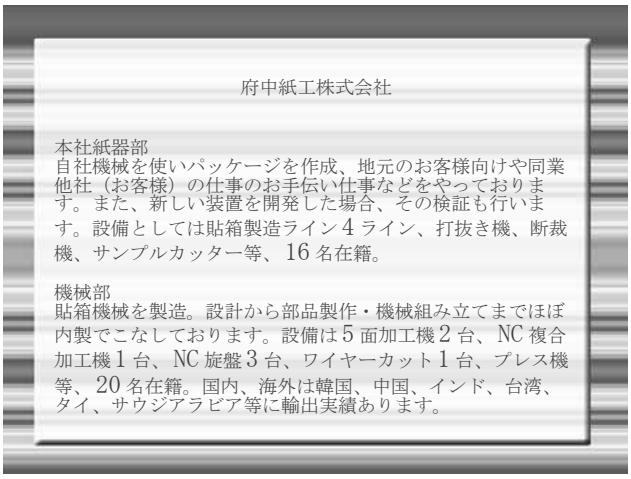
ご清聴ありがとうございます。

「新会員卓話」

三宅陽一郎会員







1/27 第1349回例会

12:30～13:30　ANA クラウンプラザホテル

➢それでこそロータリー

➢会長時間

皆様こんにちは。本日は、ゲストにライズプロジェクトの田中社長にお越しいただいております。宜しくお願いします。プログラムは、年男新春放談となっております。今年の新春を飾るに相応しい、年男の皆様の卓話により今年度の後半が縁起良くスタートさせていただくことができました。感謝申し上げます。

本日は根石会員と伊藤会員におおとりを飾っていただくこととなりますが宜しくお願いします。

さて、今年度国際ロータリーのゲイリーC．K．ホァン会長テーマ「ライトアップロータリー」です。これは中国の儒教の祖である孔子の教えの中の「暗さを呪うより、ろうそくに火を灯したほうがいい」の一説から、ロータリアン一人一人が奉仕の心、輝きを持つことでクラブが輝き、クラブが輝くことで地域社会を輝かそうということです。さらにライトアップロータリーの実践ということで、各地域の人々をクラブが招き楽しいイベント（ロータリーデー）を開催するようにとの要請から、今年度は各ロータリークラブの課題となっておりました。先日ようやく我が西南ロータリークラブとして、ロータリーデーの概要が固まりました。3月の21日に、マリーナホップにてカープの前監督、野村謙二郎氏による、トークショーを開催することといたしました。今年は現役大リーガー黒田投手の復帰で、優勝の期待が最高潮になっているように思います。カープの戦力や、優勝の可能性等について大いに語っていただこうと思っております。現在、奉仕プロジェクトの根石委員長や、社会奉仕委員会の佐古委員長を中心に、ロータリーデーのイベント内容の詰めや調整を行っていただいております。マリーナホップを運営しておられる杉川会員にも、ご協賛ご協力をいただけることになっております。多くの皆様に楽しんでいただける西南ロータリークラブのロータリーデーとなりますよう、皆様のご協力を宜しくお願いを申し上げ会長時間とさせていただきます。

➢幹事報告

クラブ月報・2月24日（火）夜開催　職業奉仕委員会GM案内・2月28日（土）開催　津田子供の家とのボウリング・食事マナー研修案内配布の案内。／例会変更。／例会終了後、月報編集会議開催。／明日1月28日（水）13：30より津田子供の家の見学。参加者は現地集合。

➢スマイルボックス

森田由美子会員（1,000円）　この度、ヨーロッパの専門誌に事例研究が掲載されました。当社で開発した強み診断とメンタルタフネスプログラムについて書きました。疲れました。当分書きません。

根石英行会員（5,000円）　当広島メープル法律事務所と佐藤克則会員の社会保険労務士法人サ

トーとの第37回の合同勉強会を２月27日メルパルク広島で開催いたします。今回のテーマは「経営者保証について」で、企業経営者の保証債務解除についての行政ガイドラインと金融機関の取り扱いについて解説します。勉強会は無料で、その後は有料の懇親会をあわせて行います。ご案内を配布させていただきますので、ご興味のある方はご参加ください。

➢出席報告

会員数 62名　出　席 51名　欠　席 11名
ゲスト　1名

➢プログラム

会員卓話

「年男新春放談」

根石　英行会員

１　私が生まれたのは1967年昭和42年10月11日です。早生まれの佐古さんより１学年下、ということになります。生まれた日にあった大きな出来事をネットで調べたのですがすぐに出てこないことを見ると日本では平和な日だったのかも知れません。

今年の放談ではこれまでの干支の年にちなんだお話しがありましたがそれらは先にい言い尽くされてしまっておりまして、そのネタに頼ることもできず、人に話せるような劇的な人生経験もないので、何をお話したらよいか迷ったのですが、職業経験を踏まえて思っていることをお話ししてお茶を濁したいと思います。何を言っても許される放談ということでご容赦下さい。

２　私が弁護士で仕事を始めましたのは平成７年です。町医者という言葉がありますが、それに倣って町の弁護士ということで町弁と言いますが、東京の町弁でボスの弁護士が一人だけの個人事務所に入りまして、企業法務や渉外事件というより、個人や中小企業に関する事件が多い事務所で仕事を覚えました。

そこで最初に扱ったのが、手形の事件です。最近は手形交換の件数も激減して、紙の手形の利用自体が減っているようで、事件として手形を扱うことはほとんどなくなりましたので、隔世の感がありますが、当時は企業取引でも頻繁に使われておりました。事件は顧問先の会社の金庫に入れてあった100枚位の手形、額面総額6000万円を事務所荒らしに盗難された、ということが発端です。振出先の会社に連絡して支払いをしないように連絡し、それぞれの会社から委任状をもらって、所持人から起きてくる手形金請求の裁判に対応する、という方針で臨みました。盗難にあった会社は、電気関係の材料問屋で、東日本の工場に材料を販売して、その代金として手形を受け取っていて、振出人は、遠くは山形もありましたが、横浜から東京の工業地帯の町工場の手形が多く、東京、横浜、川崎などの裁判所を駆け回ったことを思い出します。これらの手形はいわゆる商業手形で、額面は数万円から100万円程度で、窃盗犯がどうやってこれを金にしたかですが、小分けして処分するのに困ったようで、結局一人の善意の第三者がほとんど全部の手形を取得して裁判を起こしてきました。興信所を使ってその人の属性を調べましたが、不動産を管理しながら生活している小金持ちという程度しかわからず、窃盗グループも捕まったのですが、この事務所荒らしの件は起訴されず、結局手形の流通ルートは不明でした。

手形の裁判は１枚ずつ別々に提訴されて別々の裁判官で裁判をやっていきましたが、手形の裁判では善意の第三者という立場を崩すのは難しくて、各個撃破で負けが続きました。その途中で１人変わった裁判官がいて、こちらからの「こんな多数の手形を金融業者以外の第三者が取得するのはおかしい、盗難にあったとか怪しいと思うべきで重大な過失がある」という主張を通してくれて、手形の支払いをしなくてよいという、こちらに有利な判決を出してくれました。１件勝ったので、同じことを他の裁判で主張したところ、それからは、それに同調する裁判が数件続きました。手形の裁判というのは、即決裁判ですぐに判決が出るのですが、それには異議申立ができて、通常の裁判がその後進められることになるのですが、勝ったり負けたりした手形判決が続いた後、結局全部の手形の裁判を一人の裁判官にところに集めて裁判が続くことになり、ある女性の裁判官のもとで裁判が続けられることになりました。その後紆余曲折がありましたが、100％の完勝というわけではなく、額面の５割程度で買い戻す、という話で終わりました。手形の流通性とか善意の第三者の保護ということを考えると盗難された会社は6000万円まるまる損失を被ってもおかしくなかったのですが、半分の損失で済んだのでした。そのように損失を半分に抑えられたのは、１人の変わった裁判官がいてくれたからなのです。裁判官は横並び意識がありますから、先例や関連する事件の判決でこういうのがあります、となるとそれになびくところがあります。この横並びは、こういう事

件ならこれが相場というか平均的、普通の解決や数字になるという見方に通じます。手形は第三者保護を重視するという横並び的な判断が強いはずなんですが、あえて言うと変わった裁判官に当たって、良かったという話です。

2001年に広島に戻りまして、翌年から当クラブにお世話になったのですが、その頃経験した事例で、もう一つ横並びになるはずの裁判官の判断が分かれた事件があります。事案としては離婚と不倫の事件です。夫から離婚の裁判を起こされて、奥さんは夫が職場の女性と不倫関係にあって、そういうのは有責配偶者と言いまして有責配偶者からの離婚請求は認められない、と争いました。誰と不倫しているかわからないというのではなくて不倫相手の女性も特定されていました。しかし、離婚裁判の第一審の判決では、不貞行為は認められなくて離婚となりました。そこで奥さん側は控訴しました。控訴審でも不倫関係は認められないということで負けました。そこで最高裁に上告しました。最高裁は民事事件での事実認定には基本的に介入しませんので、最高裁でも負けて、言ってみれば３回連続して不倫関係は裁判所では認められませんでした。奥さんは興信所を雇ったりして不倫を暴こうとがんばったので悔しくて今度は不倫相手の女性に慰謝料を請求して訴えました。こっちの裁判では１審では、旦那との離婚の裁判ではその女性と不倫関係が認められていないこともあって、不貞行為はない、という判断で慰謝料は認められませんでした。そこで控訴しました。結局４回連続して不貞行為はないとなっていたのですが、控訴審で流れが変わりかけました。控訴審の裁判官、高等裁判所の裁判長ですから裁判官としては大ベテランのそろそろ上がりかという人ですけど、奥さん側に立って、不倫があることを匂わせて相手の女性側に和解金を払うように強く勧告してくれました。それで幾らかの金銭を奥さん側は貰うことになりました。４敗１分け位ですかね。これは全く同じ証拠を見ていて判断が分かれたケースです。今と違って携帯電話のメールとか決定的な証拠はありませんでしたが、二人で一緒に同じ車に乗って帰るのを目撃した探偵の証言とか、同じマンションの部屋に入ったときと出てきたときの写真とか、不倫を疑わせるような証拠は多数あったのですが決定的とまで言えませんでした。

これらの裁判の経験からすると、ダメそうだと思っても裁判官が変わると流れが変わるかもしれないから、あーでもない、こーでもないととにかく言えることは何でも言ってみよう、負けそうでも何とかならないかとりあえずやってみようということが大事と言えますが、決定的な証拠というものももちろんありますが、実際争いになりそうだと言って日頃から証拠を集めている方が珍しく、裁判になってあれがないか、これがないかと探すのが普通です。そしてなかなか決定的なものが見つからず、民事の裁判では証拠の優越ということが言われていて、双方から出てきた証拠を比較して勝っている方の言分を採用する、というのが普通です。もちろん書類とか客観的な証拠があればよいのですが、そういうものがなく関係者の証言によらざるを得ない事件ということになると、裁判官がどの証拠をどれだけ重視するのかとか、証言の信憑性をどのように判断するのかとか微妙なある意味グレーの領域が出てきて、原告と被告のどちらの証拠が勝っていると判断するのかは結局裁判官次第であると言わざるを得ない部分があります。そういうところは、裁判官はコンピューターではないので、裁判にはやってみなければわからない、という側面がどうしても出てきます。

３　これまでの経験から言わせていただきますと、企業経営や人生の選択において、掛かってきた火の粉をふり払うためにとか、どうしても他に方法がないという場合を除いて、裁判をしたりすることは避けた方が良い、ということがお伝えしたいことです。

裁判所に頼るなと弁護士がいうのは気が引けますし、何とか頑張れば流れが変わるかも、というのもないわけではないのですが、裁判には潜在的に結果の不確実性というリスクがあります。リターンを得るためにはリスクはつきものですが、リスクを取らないで良いならその方がましです。裁判に伴うリスクとリターンを慎重に見極めることが重要で、裁判の前の和解や示談ということは、裁判をするとそれよりもっと有利な解決になるかもしれませんが、現在より不利益を被らないというリスクを限定するメリットがあります。日頃の仕事においては、リスクとリターンを予想しながら、リターン重視というより、リスクを限定することに心がけてご相談に応じているつもりです。

４　前回に年男でお話をさせていただいてからの12年は本当にあっという間でした。これまでロータリーを続けることができたことに感謝しながら、今後も精進していきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

伊藤　英彦会員

グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード（Goodwood Festival of Speed、略称・FoS。イギリスではFestival of Speedとしても知られる）は、イングランドのウェスト・サセックスにあるグッドウッドで開催されるモータースポーツのイベント。年に一度、６月下旬から７月初旬に開催される。

世界各国のレーシングカーやレーシングサイクルが集結し、多くのモータースポーツ愛好家達でにぎわう。日本の自動車メーカーも参加し、自動車雑誌に開催の様子が取り上げられる。

「グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード」とは、英国南部のグッドウッドの丘にある、英国貴族マーチ卿の広大な所有地で開催される世界最大級のヒストリック・モータースポーツイベント。世界各国の自動車メーカーが施すこだわりのディスプレイでその名を知られており、1993年から開催されているのです。

毎年６月下旬から７月初旬にイギリス・サセックスのグッドウッドで開催される世界最大級のモータースポーツイベント「グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード」。マーチ卿の私有地で、東京ドーム約1000個分の広大な敷地に世界各国の名車が集結し、多くのモータースポーツ愛好家で賑わう。21回目を迎える今回は、マセラッティ 100周年記念や歴代の偉大なドライバー、チーム、マシン、メーカーなどを特集。また、20世紀初頭のクラシックカーや最新型F1マシンなどバラエティに富んだモーターカーコレクションや、往年の名ドライバーがそれらのマシンで走行するヒルクライムレースなど見どころ満載！ファン必見の豪華なイベントをお楽しみに！

フェスティバルの主催者であるリッチモンド公爵家は、グレートブリテン島南岸のチチェスター北部の丘陵地に12,000エーカーの広大な私有地を持ち、カントリー・ハウス（Goodwood House）や牧草地、リゾートホテル、ゴルフコース、グッドウッド競馬場、グッドウッド・サーキット、チチェスター・グッドウッド空港などを所有している。

リッチモンド公爵家の嫡男でマーチ伯爵（英語版）の儀礼称号を使用するチャールズ・ゴードン＝レノックス（英語版）は祖父第９代リッチモンド公爵フレデリック・ゴードン＝レノックス（英語版）が建設したサーキットを復活させた。また、マーチ卿自身も熱心なレース愛好家であることから、私有地を開放して、古き良き時代のレーシングマシンの魅力を楽しむことのできるイベントを企画した。

1993年６月13日に最初の大会が開催され、成功裏に終わった。翌1994年からは２日間開催、1996年には金曜日が追加され３日間開催となった。2012年は木曜～日曜の４日間で行われる。

入場料金は22歳以上の成人の場合、４日間通しチケットが120ユーロ（2012年、日本円で約13,000円）。

カントリー・ハウス前の広場がメイン会場となり、古くは20世紀初頭のクラシックカーから最新型のF1マシンまでが多数展示される。名車・珍車の類まで普段目にすることのない様々なマシンを間近で見ることができる。また、専門書籍の書店やパーツショップ、モデルカーショップなどが出店し、ビンテージカーのコンクールやオークションも行われる。

イギリス荘園文化の薫りや開放的な雰囲気から「モータースポーツのガーデン・パーティー」と形容される。この種の催しとして歴史はまだ浅いが、年々規模が拡大し、世界的に注目されるイベ

ントとなっている。初期の頃は数万人の参加者だったが、2003年には約15万８千人、2011年には推定18万人を記録している。

なお、フェスティバルの２ヵ月後の９月には「グッドウッド・リバイバル」(Goodwood Revival)というイベントも開催される。こちらはグッドウッド・サーキットを走行するヒストリックマシンのレースイベントである。

イベントのハイライトは、新旧の参加車両が出走するヒルクライムレースである。カントリー・ハウス周辺の庭園や牧草地を抜ける細い私道を、１台ずつ順番に走行する。計時方式(タイムアタック）だが、特に優勝等の設定はない。イギリスのモータースポーツ・アソシエーション（Motor Sport Association)からオブザーバーが派遣され、イギリス自動車レースクラブ (British Automobile Racing Club)からコースマーシャルとレスキューが参加している。コースは全長1.16マイル（約1.867km)で、高低差は57mある。コース脇にはガードレールではなく、藁で作った昔ながらのストローバリアが並べられている。レコードタイムは1999年にニック・ハイドフェルドがマクラーレン・MP4-13で記録した41.6秒。なお、現在は安全面の配慮からF1マシンの公式計時は行われていない。

ミカ・ハッキネンがマクラーレン・MP4-20をドライブ（2006年)。

また近年では世界ラリー選手権（WRC）用のワークスマシンを中心としたラリーカーのために特設ラリーステージも設けられている。出走車両は年代やカテゴリによってクラス分けされる。以前はソープボックス（動力を持たず、坂道を滑走するカート）によるレースも行われていたが、2004年を最後に休止されている。車両とドライバーの組み合わせにも趣向が凝らされている。往年の名ドライバーがゆかりのマシンを走らせることもあれば、現役若手ドライバーが戦前のマシンを初体験することもある。コースサイドの観客席間近をマシンが走行するので、スピードやエンジンサウンドなどの迫力を楽しむことができる。また、運営上の垣根がなく、一般客が自由にパドックに立ち入ってドライバーと交流を図れる点も参加者を増やす要因となっている。

2013年12月発売のPS3用ゲーム『グランツーリスモ６』には、このヒルクライムコースが収録された

2014-2015年度 第４回クラブ協議会

2015年１月13日　本年度の第４回クラブ協議会が開催されました。

国際ロータリー第2710地区

8･20広島市豪雨土砂災害復興支援助成金授与式

青年海外協力隊広島県ＯＢ会事務局長
細川光宜氏の御礼の挨拶

国際ロータリー第2710地区に寄せられた広島土砂災害義捐金の被災地への支援として、助成金の授与式が１月14日に中区の広島市まちづくり市民交流プラザでありました。

寄せられた義捐金8500万円のうち、広島NPOセンターを介して募集された15のNPO法人・学生ボランティア・社会福祉協議会の各代表に、金子ガバナーより総額1100万円の目録が手渡されました。

そのうち西南ロータリークラブは、「青年海外協力隊広島県ＯＢ会」が八木地区で活動する「阿武の里団地を花でいっぱいにする企画」を担当することになり、60万円の助成がなされました。

１月の会員記念日

会員誕生日

久保慎太郎　３日
徳納　武使　10日
三好　清隆　12日
山本　春男　29日
吉田　栄壮　31日
濵田　公璽　31日

結婚記念日

小川　光博　22日
根石　英行　23日

入　会　月

荒木　　攻　Ｈ８年
佐々木信幸　H22年
新藤幸次郎　H24年
宮﨑　　真　H26年

パートナー誕生日

上田　直治夫人　真由美様　６日
久保慎太郎夫人　初　音様　13日
仲田　淳嗣夫人　訓　子様　17日
田村　英樹夫人　景　子様　19日

創　業　月

池久保光治　㈱池久保電工社　S41年
新藤幸次郎　㈱新藤栄商店　M18年
谷口　公啓　㈱キノル・システム・ワークス　H11年

DONATION

	１　月	年度累計
スマイル	26,000円	498,000円
善意の箱	16,265円	84,564円
100万ドル	56,028円	365,148円

掲　示　板

２月行事予定

※２月３日（火）13：45～
　第８回理事役員会　　ANAホテル4F
※２月10日（火）18：30～
　Ｒ情報委員会ＧＭ
　　広島Ｇインテリジェントホテル
※２月24日（火）18：30～
　職業奉仕委員会ＧＭ　ホテルJALシティ広島
※２月28日（土）
　津田子供の家とのボウリング・食事マナー研修会
　10：00～　ボウリング　　ボウル国際
　　→会員はホテル迄各自移動
　12：00～　食事マナー研修
　　広島Ｇインテリジェントホテル

2014-2015年度　第７回理事・役員会　議事録

日　時：2015年１月６日　13時45分～ 14時45分
場　所：ＡＮＡクラウンプラザ広島
出席者：林本・木村・室崎・根石・曽里・
佐々木（宏）・對馬・先小山・末廣・
白築・折本・久保

・林本会長挨拶
いよいよ今年度後半に入っていく、ご協力頂きたい。

議題
・２月28日（土）津田子供との行事について他（協議）折本緑会員説明－承認
津田子供の家の要望による食事マナー研修会、子供達が大変楽しみにしているボウリングを２月28日国際ボウル、インテリジェントホテルにて開催予定､津田子供の家参加人数34名うち子供26名、西南会員15名程度募りたい。
会員参加費5,500円とする。子供達をもっと知る必要があり、子供達を知って事業に取り組みたい。１月中に津田子供の家に有志を募り訪問をする。

・合同幹事会・合同事務局運営委員会報告
110周年記念事業、広島市の「世界から届く平和へのメッセージ」事業支援。
14RC合同懇親ゴルフの案内は、今回から案内が簡略化、各クラブで案内する。
次年度の代表幹事は、広島安佐ロータリークラブが担当。

・広島豪雨災害支援委員会説明会報告他
全国から集まった支援金を、広島NPOセンターを経由し援助申請を受付け、外部委員会を交え審査委員会を開催し助成プロジェクトを決定。決定団体の担当クラブは、広島豪雨災害支援委員会で割り振りをした。尚、担当クラブの役割は、助成金授与式への参加以外に各ロータリークラブに何らかの具体的活動を押し付けるものではない。授与式へは室﨑幹事が出席予定。
二次募集については30周年記念事業も交え検討する。

・RLI研修報告
12月23日に末廣財団委員長が参加、リーダーシップ、ロータリーの世界観、新会員勧誘、財団、職業奉仕、奉仕プロジェクト、について講師や参加している会員と話を進め勉強した。実のある講習であった。

・退会会員の承認
昨年末、宮本晋一会員より退会届が提出。受理し12月末付で退会。

・RYLA再募集について（協議）
田中朋博会員、株式会社ザメディアジョン社の社員１名にご出席頂く。
我がクラブより、折本青少年奉仕委員長参加。

・２月プログラムについて（協議）－承認
予定表、通りとなっている。

・その他
順調に推移している。

・12月度会計報告
田中茂樹会員より出席規定適用免除申請が提出、承認。
ロータリー月間、８つの変更７月より適応。
９月：基本的教育と識字率向上月間
10月：経済と地域社会の発展月間
12月：疫病予防と治療月間
１月：職業奉仕月間
２月：平和と紛争予防／紛争解決月間
３月：水と衛生月間
４月：母子の健康月間
５月：青少年奉仕月間

・各理事役員報告
奉仕プロジェクト委員会　理事　根石英行
３月１日（日）梅林の清掃、同時開催でロータリーデーの実施を佐古社会奉仕委員長と調整をしている。

S.A.A.　理事　曽里　裕
米山寄付に関し100万ドルの食事を３回程度実施する必要がある。

会員組織委員会　理事　佐々木　宏
２月３日水谷新会員が正式に入会される。
２月10日にロータリー情報委員会が開催される是非とも参加を。

クラブ広報委員会　理事　對馬　久子
ロータリーの友電子版を委員会報告で案内する。

クラブ管理運営委員会　理事　先小山　英夫
来月、花見例会の報告。

財団委員長　理事　末廣浩一郎
地区補助金の報告準備をしていく。

・木村副会長閉会の挨拶
林本年度只今二分の一経過となり私の年度の足音が近づいてきた。
次年度の理事役員会も今月スタートし今年度次年度との会の日程も作って行かなければならない。ご指導頂きながら進めて参りたい。今年度の後二分の一が順調に参ります様に祈っている。

広島西南RC　12月度個人別出席状況一覧表

（メークアップ期間の都合上１ヶ月前を掲載しております）

	氏　名	2	9	16	23	出席率
1	荒木　　攻	○	○	○	○	100%
2	萬歳　幸治	○	○	△	○	100%
3	藤崎健次郎	○	○	○	○	100%
4	平原　一彦	○	○	△	○	100%
5	林本　正継	○	○	○	○	100%
6	平石　雅史	○	○	○	△	100%
7	橋本　幸範	○	○	△	△	100%
8	林　　暢也	○	○	△	○	100%
9	濵田　公璽	△	○	○	○	100%
10	石井　和彦	○	○	○	○	100%
11	池久保光治	○	○	○	△	100%
12	岩田　智博	○	○	○	○	100%
13	伊藤　英彦	○	○	○	○	100%
14	梶本　尚揮	○	○	△	○	100%
15	木村　恭之	○	○	○	○	100%
16	久保慎太郎	○	○	○	○	100%
17	桒田　博正	○	○	△	○	100%
18	児玉　栄威	○	○	○	○	100%
19	幸村　憲治	○	○	○	○	100%
20	三好　清隆	○	○	○	○	100%
21	村尾　博司	○	○	○	○	100%
22	宮本　　昇	○	○	○	○	100%
23	室﨑　雅宣	○	○	○	○	100%
24	森田由美子	○	○	○	○	100%
25	宮本　晋一	△	○	○	○	100%
26	宮﨑　　真	○	△	○	○	100%
27	根石　英行	○	○	△	○	100%
28	仲田　淳嗣	○	○	○	△	100%
29	岡本　文治	○	○	○	○	100%
30	奥田　　實	○	○	○	○	100%
31	小川　光博	○	○	○	○	100%
32	岡本　俊雄	△	○	△	○	100%

	氏　名	2	9	16	23	出席率
33	折本　　緑	○	○	○	○	100%
34	佐々木　宏	○	○	○	○	100%
35	白築　忠治	○	○	○	○	100%
36	曽里　　裕	○	○	○	△	100%
37	杉川　　聡	△	○	○	○	100%
38	先小山英夫	○	○	○	○	100%
39	佐藤　二郎	○	△	○	○	100%
40	佐藤　克則	○	○	△	○	100%
41	杉本　清英	△	△	○	○	100%
42	末廣浩一郎	○	○	○	○	100%
43	佐々木信幸	○	○	○	○	100%
44	佐古　雄司	○	△	△	○	100%
45	新藤幸次郎	○	○	○	○	100%
46	田中　茂樹	○	△	○	○	100%
47	谷口　公啓	○	○	○	○	100%
48	遠崎　秀一	△	○	○	○	100%
49	寺本　真司	○	○	△	△	100%
50	俵　　雅之	○	○	△	○	100%
51	徳納　武使	○	○	○	○	100%
52	對馬　久子	○	△	○	○	100%
53	田村　英樹	○	○	△	○	100%
54	田中　朋博	○	△	○	○	100%
55	上田　直治	○	△	○	○	100%
56	山本　　豊	○	○	○	○	100%
57	山下　哲夫	△	○	○	○	100%
58	吉田　栄壮	○	○	○	○	100%
59	山下　幸彦	○	○	○	○	100%
60	山本　春男	○	○	○	○	100%
61	山本　恭瑚	○	○	○	○	100%
62	山國　　豊	○	○	○	○	100%
63	三宅陽一郎	○	○	○	○	100%

名…名誉会員　■…出席免除会員　○…ホームクラブ出席　△…メークアップ　×…欠席

編集後記

新年を迎え、今年もクラブ会報をよろしくお願い申し上げます。私事ですが、昨年、奉仕の理念について勉強する機会を頂いてから仕事の中でも少しずつ奉仕というものを考えるようになりました。そんな思いが実ったのか、先日お取引先からとても立派な椎茸を頂きました。とてもおいしく、しかも低カロリーで椎茸は素晴らしい食べ物だと感心しました。そして胞子をまき散らす椎茸を見ながら私も奉仕をまき散らすキノコのようなロータリアンになりたいと心を新たに致しました。（児玉栄威）

2015年２月17日

発　行　広島西南ロータリークラブ
会長　林本正継　幹事　室﨑雅宣
事務所　広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル13F
TEL 082-221-4894　FAX 082-221-4870

編　集　会報資料委員会

初釜　坤心会

1月25日

「東風吹かば香いおこせよ梅の花」

梅の蕾もそろそろ、ふくらみかける正月25日、待望の坤心会「新年初釜会」が表千家小畑茶席で開催されました。

主賓席は坤心会、名誉会長の山本豊氏である処、当日、体調を崩され欠席のため、濵田会長が務めること相成り、山下幹事以下、全員7名が茶席に入ります。

これより、ほんの数時間、非日常空間の中に身を置いて心静かに日本の美学である有限の精神世界を我が物として遊ぶのです。

茶席は山下幹事の手による真新しい淡い緑色のタタミが香ばしいにほいを放ち、新年にふさわしい茶花と季節感あふれる軸から炉、道具に至るまで、名品が揃えられ清々しい室内の中「ちん、ちん」と鉄びんの湯の沸く音だけが心地よい緊張感を柔いでくれています。

初釜茶事は「茶事作法」に従い諸事が進行します。まず最初は、京都より取寄せられた銘菓をいただき乍ら濃茶を味わふこととなります。次に例年であれば濵田会長による「薄茶手前」がある処、当日は取止めとなりました。濵田会長の手前は和服姿と相俟って「風格のある一幅の軸」そのもので、わが坤心会の手本であります。先年の姿を写真で紹介します。

つづいて、名品の器と共に絶妙のタイミングで出される「懐石料理と逸品酒」これが当日の目玉、正（まさ）に日本料理の真髄、時たつを忘れる心境です。

同席会員一同、感激の極みに浸るころ、今年の「初釜会」はおひらきとなりました。

ここで、この機会を頂戴して「茶道」について少しお話しをさせていただきます。

利休は天生の世、権力者、秀吉につよく反発を感じながらも精神の支えにしたのが「茶道」だったのです。あの聚楽屋敷で極度に緊張した空間構成きわめて精神性の深い求道的表現は我々に計り知れない教訓を与えています。

古田織部の弟子、本阿弥光悦は技功を表に表さず、内に深く秘め「思い入れ」の表現をめざし「生涯へつらい候事、至って嫌い」と云い放っています。

利休の孫、宗旦は「人間本来無一物」の心に徹しようと、作爲や演出は不必要とし、侘びに徹した境地に生きることを信条とし「生涯、利門、名路に奔（はしら）ず」と清らかな一生を送っているのであります。

又、反動政治家、開国先覚者として自己の所信を行動にうつした井伊直弼は石州流の茶を学び宗観をとなえていますが、彼の論理と気概は禅と茶の修業の中で得られたといわれています。

そして小堀遠州は「それ茶の湯の道として外にはなし君父に忠孝を尽し、家々の業を懈怠なく、ことさら旧友の交（まぢわい）をうしなうなかれ」と説いています。

それら茶道における、それぞれの時代の名人は茶道を通じ、人間完成、求道の道を教えているのです。

さて我々は今日、経済優先、ハイテク技術の最先端社会の中で、きびしい毎日を送っていますが、何を精神のよりどころとし、何を精神のエネルギーとすればよいのでしょうか、奉仕の理想を旗印とする同志の皆さん、奥に秘めて表に見えない幽玄の精神世界を我がものとする茶道を共に楽しみ精進しようではありませんか。

幽玄の世界である「わび茶」を完成させたといわれる小堀遠州政一のことばを記して筆をおきます。

「春は霞（かすみ）、夏は青葉がくれの郭公鳥（ほととぎす）、秋はいと淋しさまさる夕の空、冬は雪の暁（あかつき）、いづれも茶の湯の風情ぞかし」

合掌

坤心会　奥田實